

平成30年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告

区市町村名 清瀬市

学校名 清瀬市立芝山小学校

1 事業目的 協議会名 芝小みどりの絆

○保護者・地域が学校と連携協力して、芝生の維持・管理、および活用を推進する。
また、これらの活動をとおして、児童の心の育成と体の成長を促し学校・児童・保護者・地域の関係を深め、人間関係力を高めたり、地域の教育力を向上させることを目指す。
○芝生化された校庭で、地域住民と共に行事を行うことを通して本校の芝生化への理解と協力を図る。また、地域の学校としてコミュニティーの役割を担う。

2 主な取組と成果

○学校(児童)、保護者、地域の住民のそれぞれが芝生の維持管理に取り組んでいる。特に地域の協力による芝刈りや雑草抜きは、学校にとって大きな手助けとなった。その結果今年の夏も校庭の緑が生え、来校者の多くが芝生を褒めていた。
○グリーンリーダーや、「みどりの風景計画」の吉岡さんから芝生管理の仕方について話を聞き、実践をしている。毎月学校で実施している雑草抜きでは多くの教職員が協力している。
○月1回のサッカースクールには、多くの児童と地域の指導者が集まり練習をしている。11月に行われた市の少年少女サッカー大会では、昨年以上の成績をおさめた。
○来年の1月には芝小お楽しみ会(スカッドボーイ大会、児童・保護者、地域の方々との交流を深める活動)を開催予定である。

3 具体内容



夏の芝生



月1回のみどりの絆



学校公開で舞いを披露

今年度は自走式四輪芝刈り機の調子が良く、ほぼフル稼働できたことで、夏の芝生が鮮やかになった。地域の方の協力がなかったら大変だった。
一部芝が剥がれてしまった場所があったが、移植ごてのようなもので移植し、肥料を増やすなどの養生をしたことで劇的に回復し、元の芝生のようになった。

四月に入学した新1年生も担任の先生に教えてもらいながら雑草抜きをした。学年ごとに決まったエリアがある。4年生以上はフォークを使ってよいことになっている。4月に転入してきた児童も友達に教わりながら取り組んでいた。採っても採ってもなくなる雑草たちと闘いながら、今さらながらに雑草の強さを学んだ。

緑の芝生の校庭は子供たちにとって気持ちの良いものだ。運動会で踊る時、裸足が多いのだが、普通の校庭だと子供たちは、仕方なく裸足になる。しかし、芝生の校庭だと、喜んで裸足になった。休み時間や放課後、時々裸足で走り回っている児童を見かけます。そのような子供の姿を見ると、子供が自然と対話しているように思えてならない。

4 今後について

○保護者、地域の方々で、この活動に関わろうとくださる方が増えつつある。学校が主導するだけではなく地域の団体が主導して取り組めることも考えていきたい。
○芝生がはがれて危険な場所は早めに移植を行い養生する。
○平成31年1月12日(土)「新春！芝小お楽しみ会」は毎年400人近く集まる大型行事だ。芝生では、「スカッド・ボーイ大会」が行われる。PTAや地域の諸団体とも連携をしている。将来的には、時期も考えながら、和太鼓や、お琴の演奏など和楽器の演奏会なども計画していきたいと考える。
○平成31年2月頃から「みどりの絆」を再開し、雑草抜きをはじめの予定だ。
○地域との連携を更に深めるため、広報の発行と展示活動等を行っていきたい。

